

寅さん歩 その20

官公庁の食堂めぐり-8 港区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 3 番の港区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも

「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

[港区役所 レストラン ポート]

港区芝公園 1-5-25 最寄駅 三田線 御成門駅

港区は 1947 年 3 月芝区、麻布区、赤坂区が合併して誕生しました。新区名の審議では江戸城の南部を意味する城南区と東側に東京港を持つ東港区に絞られ、今後の我が国の発展は貿易の振興であると、東港区が有利となりましたが、東京都東港区では類似の音が重なるので東の一字を抜いた港区となったそうです。

江戸時代には広大な大名武家屋敷と町人町が混在、現在もオフィス街・商業エリア・住宅街と様々な表情を持っています。駐日大使館も多く、外国人居住者も多いとのこと。

千代田区・中央区・港区を都心として位置付け、新宿・渋谷・池袋は副都心と呼ぶようです。三田線御成門駅出口 A 2 を上がり、前方に進むと左手が港区役所（1987 年竣工の 11 階建）写真右上です。向かって右は南館・左が北館、両館は各階で繋がっています。



「レストラン ポート」は南館の11Fにあります。
写真右の絵葉書のような景色を見ながらの食事です。

営業時間は朝食7時45分～8時45分、

昼食11時～14時、軽食・喫茶14時～16時。

ランチはスペシャル(750円)、ヘルシー(650円)、
みなとランチ(580円)で、いずれも日替わりです。

カレー420円～520円、うどん・そば430円、ワンタン
メン550円もあります。

写真下左は みなとランチ さんまの竜田揚げ野菜あん

写真下右は スペシャルランチ ビーフストロガノフ

いずれも美味しいお味でした。



港区観光ガイドマップによると、港区は「芝・新橋」、「麻布・六本木」、「青山・赤坂」、
「白金・高輪」、「バイエリア」の5つのエリアに分けて紹介されています。

「寅さん歩」で紹介した港区を参照ください。番号は「寅さん歩」の目次番号です。
港区には約80か国(日本にある大使館の約半数)が点在しています。新しい祭は港区が
主催する大使館等周遊スタンプラリーです。

東京十社の初詣:04、東京発祥之地めぐり:14、15、20、21、22、東京の桜:46
健康ご利益めぐり:52、江戸・東京の祭:73、81、90、103、110、花の祭:88、89
東京の黄葉・紅葉:82、83、108、151、江戸・東京の百名山:133、134
新しい祭:86、111、112、114、116、159、163、164、お江戸の時の鐘:175
東京にこんなところ:157、東京の学食めぐり:193、199、211、213
お江戸の閻魔大王:119

港区の木は「ハナミズキ」、花は「アジサイ、バラ」です。

[バーチャルウォーク 途中経過]

2018年10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市



から 10 月 28 日鹿児島県鹿児島市、11 月 20 日宮崎県都城市に入り、日向市と延岡市の間で 2019 年を迎え、大分県に入りました。

2019 年 2 月 10 日現在、スタートから 468 K m 地点を通過しました。

ウォーキングでは自然や人との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲で紹介します。

[寅次郎がウォーキングで出会った人ー7]

～ 人生も速いスピードで歩いて、ゴールしてしまった人 ～

寅次郎は 52 歳で会社の健診で医師に「脂肪肝・高脂血症の疑い」と言われ、歩くことを始め、働きながら F W A スタッフになりましたが、スタッフ仲間のほとんどの人は会社を定年後に入会してスタッフになった年上の人達でした。

田嶋利郎さん（写真右の後列左から 2 番目で緑のシャツ）は数少ない 2 歳年下のスタッフでした。定年後にやることとして「ウォーキング」を選び、定年 1 年前（2003 年）59 歳で F W A に入会という計画的な第二の人生設計を実行した人です。

入会後はウォーキングの魅力にはまり込み、通常のウォーカーが生涯目標として挑戦している歩行

距離「地球一周 4 万キロ」や全国 47 都道府県の大会を 1 回完歩する

「オールジャパン ウォーキングカップ」等のウォーカーの勲章を早々と手にされ、2006 年から始まった、当時はまだ全国でも完歩者はわずかな「美しい日本の歩きたくなる道 500 選」（北海道から沖縄までの選ばれた 500 の歩きたくなる道）も完歩した驚異の健脚ウォーカーです。

2011 年 4 月に体調を崩し、5 月には「九死に一生を得ました。検査を済ませて、そのうちに理事会にも顔を出せます」とのメールをいただいた後の、6 月 21 日の訃報連絡には驚きました。歩くスピードだけでなく人生も速いスピードで歩き、67 歳の若さでゴールしてしまいました。

当時 F W A のスタッフの 65 歳以下は若手で、田嶋さんには若手の先頭に立って、これからの F W A を背負っての活躍を期待していた人材でしたので、本当に残念でした。



定年後の人生設計で見せた用意周到さ・几帳面さは全国の大会を計画的に効率よくこなした調整能力によく表れていました。

用意周到さの逸話では我々の初の海外ウォークの際にドイツのホテルで深夜、

火事騒ぎがありました。火災緊急通報は部屋のTVが知らせ、真っ赤な警報画面が白い壁に映し出され、部屋中が真っ赤になりました。寅次郎はあわてて、持ち出す物を探し回り、結局は寝ていた姿のまま、裸足で廊下に飛び出していました。隣の部屋の田嶋さんは着替えてショールダーを掛け、靴まで履いて、すでに廊下に立っていました。なんて素早い人なのかと感心した次第です。消防車まで来ましたが、結局は火災報知機の誤作動とのことでした。

ショールダー姿やウエストポーチ姿は田嶋さんのウォーキングスタイルでリュックを背負わないお洒落なウォーカーとして人気がありました。又スタッフとして例会で被る制帽と終了後に被る帽子を区別していたそうです。

リュックを背負わないのは早く歩くので20km程度の自由歩行の食事はゴールして食べるので、お弁当を持って歩く必要がないからです。

「奥様には70歳までは歩きたい。歩いていて死んだら本望だ。葬儀は故郷の高崎の菩提寺で」と託されたそうです。高崎市は国内最大の「日本スリーデーマーチ」の発祥の地（その後、現在の埼玉県東松山市に移りました）です。又、毎年「高崎観音だるまツアーデーマーチ」が開催されている地で、菩提寺はこの大会のコースの近くにあり、本当に田嶋さんはウォーキングに縁がある地に眠っています。田嶋利郎さんの戒名には「歩順利篤」の文字が入っていました。大会の途中でお墓参りに行きましたが、昼間は歩き回っていて留守だそうです。

一緒に初の海外ウォークに行った近藤源司さん（出会った人—6で紹介した俳人・前の写真で後列三番目の青いシャツで田嶋さんの隣）が田嶋さんを偲んで一句を詠みました。

「外国（とつくに）で 元気に歩きし
田嶋氏の 面影偲びて 胸ぞ塞がる」 源司

近藤さんからメールでいただいたため、寅次郎が拙字で紙にしたため、葬儀の際、ご霊前にお届けしました。

次回は バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ—6 です。

平野 寅次郎 拝